

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	天理市療育教室 杉の子学級		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日 ~ R8年 3月 6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R8年 3月 1日 ~ R8年 3月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	母子通園なので、実際に子どもの遊びの姿をみながらその都度成長した姿や発達、対応の仕方などを保護者と共通理解しやすい。	1年を通してのねらいなどを保護者に伝えたり、子どもたちの姿を理解し合えるような場を設けたりしている。 また、保護者対象の勉強会を開催したり、保護者同士が自由に話ができるおしゃべり会を行っている。	未就園の子どもに対しては、成長した姿や配慮してもらうこと等を就園先に伝え、子どもたちや保護者が安心して入園できるように、こども園、保育所、幼稚園と連携をとっている。
2	臨床心理士による発達相談を年に1~2回行っている。	発達相談を行う際は、子どもたちが所属している園の先生にも参加してもらい、子どもの姿に対する見方や考え方を一致していけるようにしている。	
3	幼稚園やこども園、保育所(園)と連携を取ることで所属での姿を知ったり、杉の子学級での様子を伝えたりしている。	杉の子学級に所属している園所と連絡を取り合い、所属園所での様子を見せてもらいに行くなどしている。	

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	母子通園の為、入級者が増えにくい。		基本は母子通園としながらも、3歳以上の子どもについては、保護者の都合がつかない場合ひ限り、子どものみの参加も可能と考えている。
2			
3			